

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：国際化推進費

事業名 地域資源を活用したリトアニアとの交流促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

観光文化スポーツ部 国際交流課 国際交流係 電話番号：058-272-1111(内3976)

E-mail：c11345@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 14,810 千円 (前年度予算額： 29,537 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	29,537	0	0	0	0	0	0	0	29,537
要求額	14,810	0	0	0	0	0	0	0	14,810
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

リトアニアは、第二次世界大戦下、県出身の元外交官杉原千畝氏が「命のビザ」を発給した英断の地であり、県は同氏を縁として交流を進めている。

2018(平成30)年から、県とリトアニアとの交流促進を目的として、県内各所でリトアニアの魅力を紹介するイベント「リトアニアNOW」を毎年開催している。

2025(令和7)年は、万博交流プログラムの一環として、万博公演のため来日したフォークダンス・アンサンブルを岐阜にも招き公演を実施するなど、各種交流事業を実施。

2026(令和8)年は、県とリトアニアの交流のさらなる深化を図るための取組みを展開するとともに、両者をつなぐ杉原千畝氏の功績や人道の精神を、次世代に受け継いでいくための取組みを進めていく。

(2) 事業内容

○リトアニアNOW2026の開催

- ・広く県民にリトアニアの魅力や県との交流について発信するため、県内各所でイベント(リトアニア文化団体による公演など)を開催するとともに、県内国際交流イベント等においてもPRを行う。

（３）県負担・補助率の考え方

県とリトアニアの交流促進を図るとともに、県出身の偉人の功績等について、県として主体的に発信・顕彰する取組みであり、県負担は妥当。

（４）類似事業の有無

なし

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	142	リトアニア関係機関への旅費
対外交流費	180	リトアニア要人等との懇談
需用費	130	展示品、土産代等
役務費	220	通訳費、通信費、資材運搬費等
印刷製本費	200	広報ツールの印刷
委託料	13,843	リトアニア関係イベントの運営委託等
使用料	95	車両借上げ料等
合計	14,810	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

「岐阜県国際交流戦略」に基づき、交流促進を図る様々な取組みを実施。

（２）国・他県の状況

他府県においても同様の国際交流事業、偉人の顕彰事業を実施している。

（３）後年度の財政負担

次年度以降も継続して県が負担する。

（４）事業主体及びその妥当性

県とリトアニアの交流促進を図るとともに、県出身の偉人の功績等について、県として主体的に発信・顕彰する取組みであり、県負担は妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県出身の偉人杉原千畝氏を縁に、県とリトアニアの交流をさらに促進することにより、両者間の県民・国民レベルでの相互理解を深め、今後の永続的な友好関係の構築を図るとともに、県の知名度向上、誘客促進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
①外国人延べ宿泊客数		193万人	170万人	190万人	200万人	96.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>県内各圏域で、リトアニアを紹介するイベント「リトアニアNOW」を5年連続で開催し、多くの県民がリトアニアの文化や歴史等に親しんだ。また、オンラインを活用し、リトアニア向けの岐阜県PRを実施した。</p> <p>これらの取り組みにより、県とリトアニアの相互理解を深める機会を創出するなど、リトアニアとの友好関係の発展に寄与した。また、関連の動きとして、経済交流や学術交流を始めとする多層的な交流も活発化しつつあり、今後もさらなる発展が期待できる。</p>
	指標① 目標：70万人 実績：12.2万人 達成率：17.4%
令和5年度	<p>県内各圏域で、リトアニアを紹介するイベント「リトアニアNOW」を6年連続で開催。フォークダンスグループの公演や物産フェア、リトアニア出身の国際交流員による文化教室等により、多くの県民がリトアニアの文化や歴史等に親しんだ。</p> <p>これらの取り組みにより、県とリトアニアの相互理解を深める機会を創出するなど、リトアニアとの友好関係の発展に寄与した。また、関連の動きとして、経済交流や学術交流を始めとする多層的な交流も活発化しつつあり、今後もさらなる発展が期待できる。</p>
	指標① 目標：70万人 実績：109万人 達成率：155.7%
令和6年度	<p>県内各圏域で、リトアニアを紹介するイベント「リトアニアNOW」を7年連続で開催。フォークダンスグループの公演や物産フェア、リトアニア出身の国際交流員による文化教室等により、多くの県民がリトアニアの文化や歴史等に親しんだ。</p> <p>これらの取り組みにより、県とリトアニアの相互理解を深める機会を創出するなど、リトアニアとの友好関係の発展に寄与した。また、関連の動きとして、経済交流や学術交流を始めとする多層的な交流も活発化しつつあり、今後もさらなる発展が期待できる。</p>
	指標① 目標：120万人 実績：193万人 達成率：160.8%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	杉原千畝氏の出身地である県が主体となってリトアニアと県の相互理解を深める取組みを進めることは、両者間のさらなる友好交流の発展、杉原氏の功績と人道精神の次世代への継承に繋がるため、県関与は妥当。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	「リトアニアNOW2024」では、リトアニア出身の岐阜県国際交流員が司会としてイベントに参加したほか、同国在京大使が来岐しイベントを鑑賞するなど、国レベルでの交流を深化させる機会とすることができた。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 2	事業の実施に当たっては、少人数で効率的に企画・調整・運営を行うとともに、海外の相手方との役割・費用の分担や、業務の委託を適切に行い、必要な作業のみを行っている。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 県とリトアニア間において、互いの認知度の更なる向上のため、両国において杉原千畝氏を縁とした相互理解を効果的に深める機会を増やすとともに、民間団体や県民を巻き込み、官民一体となった交流等を促進させていく必要がある。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 海外との交流・偉人の顕彰については継続的な取組みが重要であり、実施状況を踏まえ、効果的な事業内容・手法を検討していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	